

第6次総合計画 第4回市民アイデア会議 会議概要

1 会議名	第4回市民アイデア会議
2 日時	令和4年7月26日(金) 15時30分～18時00分
3 会場	寺町公園ふれあい館
4 委員出席者 (順不同)	本間委員、足立委員、水野委員、西川委員、栗原委員、モーガン委員、佐川委員、岡村委員、松山委員
5 事務局出席者	事業戦略室長、事業戦略係長、 企画財政課 企画調整係長
協 議 事 項 等	
1 開 会 (事務局:事業戦略室長) 2 会長あいさつ (本間会長) 皆さんこんにちは。今回で第4回目であるが、本日は将来像と基本目標を決定したいと思う。この素案づくりは、8月中旬に素案とし、8月末には、基本構想審議会が開催される予定ですので、本日はしっかりと進めていきたいと思う。よろしくお願いします。 3 経過報告 (事務局) 前回6月に開催した会議において、将来像について協議をいただいた。その結果、事務局において意見をまとめることとなっており、前回の会議やこれまでの議論で出た委員の意見を踏まえ、事務局で将来像を三つ作成し、先週に理事者と意見交換を行った。それぞれ委員の思いを込めてある三案である。資料1を説明する。 なお、その中で、1つの案について説明文と共に提案させていただきたい。それが資料2である。 将来都市像(素案づくり)について (資料1) －資料に基づき事務局説明－ 4 会議事項 (1)将来都市像・基本目標(素案づくり)について (資料2) －資料に基づき事務局説明－ (2)その他 なし 5 意見交換 (本間会長) 続いて意見交換にうつる。今説明いただいた将来都市像に関して、これまでの会合の中でのキーワードをかなり拾って、三つの案にまとめていただいている。案3で基本目標を作成していただき、案3	

を推していきたいということだが、皆さまこれに関してご意見いかがか。

(委員)

前回の会議で長い文章だったのを短くできないかとずっと考えて、LINEに流すかどうしようかと思っていて今日になってしまった。それを今日お伝えしようと思ったが、案3でいくのだとしたら、どちらかという案1の文章で考えてきた。それが「八季の豊美な自然の中でおらちの夢が叶うまち」である。なお、事務局からまとめた案について、今話を聞いていたらうまいことまとまっている。

(本間会長)

この美しい自然の中とか、いろいろ前回考えて、その中で里山だけでなく、まちづくりだったり人づくり、人材育成や子どもたちのこと、移住・定住してきた若者たちに向けていること、ごく豊かな自然で飯山も過ごしやすいが、人に会ったりまちをつくる、などの意味合いも入れると、「郷創」という言葉の中に、自然もまちも、都市としての機能もつくっていくし、里山、自然としての景観もつくっていく、いろいろな意味での「郷創」ということがここに入れられそうだなと思うので、このいただいた案をこの中に含められるかなと思うがどうだろうか。

(委員)

意味合いが込められているなど。読めば読むほど我々が思っていたこと、季節が八つあるよねとか、そういったことも全部含んで、いいのかなと。

(本間会長)

私も最初、この四文字熟語感が堅いかなと思ったが、よく考えると飯山郷創でインパクトもあるし、使われやすいというのか、里をつくっていく、環境をつくっていくとかそういう意味も込めている上に、ちょっとお祭りとか新幹線の駅舎にポスター、のぼりを作る時に、飯山郷創って書いてあって、豊美な自然の中でおらちの夢がかなうまち、といった標語みたいな感じでその宣伝でいろいろな言葉と組み合わせやすいなと思って、広報、発信するにはこの「飯山郷創」は色々なものと組み合わせやすくなっていいかなと思う。いただいた4つの案も、この思いの中に残して、イベントだったり何か発信するときに、どの郷創にはこれが含まれているだとか、それぞれのイベントのテーマごとで組み合わせて行けそうだなと思った。

(委員)

郷創というのは造語か。

(事務局)

造語である。

(委員)

今ざっと調べたらやっぱり、郷創という言葉だけでたくさんワードが出る。共に走る「共走」もだし、

共に創るの「共創」もそうである。競い争う競争もある。

(委員)

私もその四文字のインパクト、堅いなというのが第一印象。個人的に郷という字を調べてみて、漢字の成り立ちが、二人の人が、ごちそうが置かれたテーブルを挟み向かい合って楽しく一緒にご飯を食べ、いろいろな会話をしている情景を表した象形文字がこの郷だと出てきたので。もしそういう意味も含めて郷にするのなら、すごく面白いのかなと。

(委員)

そこに誰が座るのか。

(委員)

住民同士だったり、住民と外の世界の人だったり。

こじつけじゃないが、言えたら面白いかなと思った。世界に拓く「里山の未来」のところが少しぼやっとする。

(本間会長)

文字の成り立ちも含めて、郷創はすごく飯山に合っているなという感じなので、案3でいいかもしれない。

(委員)

クリエイトという言葉、雑談になるかもしれないが、エイトは八と書く。造語だが、エイトを八にして、八は末広がりの意味もあるので、クリエイトという言葉はそういう意味でも好きだ。その末広がりが未来にひらけるという言葉で、クリエイトも意識したら面白いかなと思った。

(委員)

言葉がいろいろ広がっていく感じすごい。

(本間会長)

副題に関して、変えたほうがいいとか意見はあるか。資料2で、里山の未来については説明を決めていただいているので、基本目標、将来都市像を見ていただくとこの里山の未来に関してちょっとぼやとしたものが具体的になってくるかと思う。里山の未来の中に、八季という言葉を入れて、四季だけじゃない幅広い季節があるのだというのをこの中に入れるのが良いのかなと思った。

(委員)

この世界に拓くという、相当大的な言葉だと思うが、新幹線駅は日本中にたくさんある。その中で世界に拓くと言い切れるその要素って何かちょっと気になった。それはやっぱり駅であり、外国の方々がたくさん来ている現状なので、そこにスポットを当てて世界に拓くと言っているように聞こえる。

飯山の強みである雪、というのを上手に表現できてというようなタイトルをつくる必要があるのではと思う。ただ世界に拓くといっても、とても抽象的な言葉になってしまう。それも気になった。

（本間会長）

そうすると将来都市像の基本目標、「飯山郷創～世界に拓く里山の未来～」を変えるか、それともこの説明の中で加えていくという形がいいのか。この3つに関しては。

（事務局）

先ほど雪という話も出て、まさにその通りだと思う。例えば先生の話にあったように、施策の中にしっかりと雪をイメージさせるようなものを盛り込むなどできるのかと思った。そういったいろいろな地域課題というのは、全て里山の未来に含まれるイメージなのかと。

（本間会長）

基本目標で詳しく入れていったほうが良い。

雪とか八季、おらちの夢が叶うとか、そういったこの単語、用語が入っているといいなとか、あればどんどん意見出していただきたい。

（委員）

農業に携わる私としてはこの「里山」という言葉は、大いに使っているだけでそれだけでも、本当にありがたいこと。里山というのは管理している人たちがいてこそつくられる、維持できているもの。それが沢山使われている。

（本間会長）

前回の会議終わりで話した時に、クリエイティブなどのポジティブなワードはすごく良いのだが、たまに動きたくないという大袈裟だが、ゆっくりのんびり暮らしたいなという人たちもいる。クリエイティブを推していくのは良いが、クリエイティブをしない人たちも安心してゆっくりのんびり暮らせるよというのが入っていると良い。ダイバーシティというように、色々な考えの人がいるので、その中に落ち着いて暮らせるとか、何て表現したらいいか。ゆっくりのんびりもできるし、クリエイティブなこともできるし、活発にも動ける。でものんびりもできる、どんな生活でも受け入れて貰えるみたいなことがあると、世界に拓くになるのか、里山の未来になるのか。必ずしも前向きじゃなくてもいいんだよ。そういったのも入っているといいかと。

（委員）

感想だが、生活の選択肢が多く、選べる方がいい。

（本間会長）

そういったのも入れて反映していただけるなら。他に資料2、1ページに関して何かあるか。

(委員)

聞いていて思ったのが、季節を感じ、時を忘れる里、みたいな。忘れるというのがあったが、雰囲気としてはそういう感じ。頑張っている人も時を忘れて頑張って、ゆったりしている人も時を忘れる。ひとつのワードで二つの意味合いがある。

(本間会長)

確かにどっちとも取れるので良い。

(委員)

素案のメインのところを変えるか、その内容のところを変えるか。

(本間会長)

メインはそのまま決めていただいて、この「飯山郷創～世界に拓く里山の未来～」で入れて欲しいキーワードだったり、こういう表現をして欲しいというものがあれば出していただきたい。

(委員)

「世界に拓く」のところで、飯山市を発信しますってなっているが、今までの会議のところで話をすると外の人も来て生活ができるとか、海外の人も来ていろいろな人が住んで生活ができるようなひらけた飯山という話も結構出たというイメージがある。ひらくの「拓」は開拓の「拓」なので、「拓く」でも良いと思うが、自分のイメージではオープンの方の開くに近いのかなという気もする。でも開拓の「拓」でひらく、を目標にして、こちらの説明文にいろいろな人が出入りしやすいというか、いろいろな人が来てその人がやりたい事ができるみたいなイメージがここに入ってきて良いのかな、あくまでも発信、発信だけじゃなく、受けがあっても良いのかなという気はする。

(本間会長)

拓くという漢字を開拓の拓にしたというのは。

(事務局)

切り拓くという意味。

(委員)

ひらがなでもいい。

(事務局)

ひらがなにすると考えさせられる内容になる。

(本間会長)

確かにひらがなのほうが、いろいろなイメージというか。オープンなほうでも開拓のほうでも。

(委員)

私も一緒に、オープンである、開いて待ってるよ、という方のイメージが出る。ひらがなのほうがありがたい。

(委員)

説明のところで何かその文言が入ってもいいのかなという感じがする。

(委員)

ひらがなにしておいて説明文のところで開拓の拓と、開くという両方の表現ができるみたいなのがあると良いか。

(本間会長)

一旦、この1ページ目はこのような感じで。

(委員)

一人ひとりの夢がかなうというのって、一人ひとりって子どもから大人までみんな、全ての人。こうだったらいいとか、こういうことやりたいなっていう思いがそれぞれあるので、それがかなうといいなという思いで言ったのだから。世界に「拓く」の中に、子どもから大人までどんな夢もかなえられるような意味合いを入れてもらえたらいいかなと。

(本間会長)

感謝申し上げます。幅広い世代をイメージする。

(委員)

個人的には「里山未来」が良いと思う。

(本間会長)

里山未来でもスッキリ。

(委員)

里山未来といとなんかシュッとするが、「の」が入ると「里山未来」とするか。

(本間会長)

「飯山郷創」「里山未来」。

(委員)

恰好いい。

(委員)

さきほどの八季、どこかに入れたら面白いかなと思う。中の文章に入れるにはちょっと、説明文に入れる言葉としたら強いかなと思う。

(委員)

共感を得られる言葉だなと思う。八季里山とか、どこかに入れたら面白いかなと思った。

(本間会長)

八季についても再検討していただけたらと思う。世界にひらく八季の里山。

(委員)

八季里山っていうと、なんだろうか。

(委員)

難しい。

(委員)

ここに入れられるかどうか。

(委員)

この説明のところでは必ず入れていただくと良い。

(本間会長)

2番目の基本目標で、分野別のありたい姿とその内容について、どの選択分野が該当するのか、キーワードとしてどんなことを入れていくのか、案をつくっていただいた。この中で今まで出た意見だったり、一人ひとり子どもから大人までとか、どこに入れていくか、どういうことを付け足したいかという意見出しをしていただけたらと思う。順を追ってやって考えていく。もし途中、例えば目標3を考えていて、目標1での意見を思いついたら最後にまたまとめて全体を通して戻ろうと思うので、一旦順番通りですすめたい。基本目標1の「美しい自然環境から“クリエイティブ”があふれるまち」ということで、基本目標のこの言葉をちょっと変えたい、などの意見を出すのは。

(事務局)

かまわない。

(本間会長)

ではそういったことも含めて意見出しをしてもらいたい。基本目標1「美しい自然環境から“クリエイティブ”があふれるまち」について。ここは、八季がないのかなと、美しい自然環境。

(委員)

何か造語をしてはどうか。豊美と八季をくっつけて、八季豊美。

(委員)

八季豊美のように、四文字熟語か。

(委員)

豊美で八季な、八季の、環境からクリエイティブ。

(委員)

豊美で八季な自然。

(委員)

四季と同じ使い方か。

(委員)

豊美で八季な。

(委員)

豊美な八季の自然。

(委員)

八季の美しい自然環境から。

(委員)

八季の美しい自然環境から、クリエイティブ。

(委員)

八季を感じるとか。美しい自然環境というと、きれい過ぎている印象で、実際そんなきれいな事ばかりではない。そういった意味も含めての八季、美しいと言えないから八季に変えているみたい。

(委員)

すごいスッキリする。八季を感じる自然環境、クリエイティブがあふれるまち。

(委員)

美しいも感じるし、辛いも感じるし。

(委員)

ただただクリエイティブをするのではなくて、季節を感じながら、というのが飯山らしい。

(委員)

八季を感じる自然環境からクリエイティブがあふれるまち。自然景観、環境保全…。

(委員)

結構、クリエイティブ関係はいくつか、こんなアイデア出ていた。

(委員)

八季を入れるので、自然景観は八季に含んではいると思うが。そのほかの目標は、何か政策的なものはあるか。

(委員)

別の委員の意見にあった芸術関係は、盛り込んでいるのであれば。

(委員)

基本目標3で伝統産業というところで、伝統産業もクリエイティブ、イノベーションしてくれるほうがいいと思う。芸術に含める。

(本間会長)

新産業の創出のところに、新産業だけじゃなくて、文化の融合・創出

(委員)

それ他の所にはないから、文化面・美術面とか。

(委員)

既存のものと今の新しいものを融合させて、というような。文化の融合。

(委員)

ジブリの展覧会(※長野県立美術館の展覧会)、あの建物に初めて入って、あそこがまさに美術館的な建物。ジブリはもちろんだが、ああいう美術館のような、なちゅらが一番近いかな。

(本間会長)

ジブリ的なものとか、県立美術館だと昔からの伝統的な展示もあるし、絵画の展示もあるし。現代芸術などでは映像、今別の場所でプロジェクションマッピングを使った展示を行っていたりするので、ひとつの場所で新しいことも昔からのこともある。

(委員)

そこで良かったら、善光寺近くだったが、庭に出たら子どもたちが庭で噴水とか、たくさんわちゃわちゃしていた。そういうところは美術、芸術がより近い場所にあるから、それがいいなど、別々じゃなくて。それがひとつになっている。

(委員)

公園とか公有財産の活用、という感じか。公園整備とか。

(委員)

公園整備入れて欲しい。子どもたちの。

(本間会長)

今の文化やいろいろなものに関して、文化芸術のような、元々あるものを盛り上げるし、新しいものも創り出すし、文化芸術振興等が選択肢として入っていると挑戦しやすいのかと。ここに入っている公園に関してもより具体的に都市計画とか。

(委員)

公園はあるけれど、もうちょっと良くなればいいのになと思う。トイレがない。

(委員)

駐車場から遠い。

(委員)

あと道路側に柵がない、危ない。

(本間会長)

都市計画もこのクリエイティブがあふれるまちのほうに、もっと、安心・安全、交通とか防災とかこちらのほうの都市計画にはなってくると思うが、クリエイティブな部分とか公園での交流の部分での都市計画をまずここでも考えてもらうという感じか。

(委員)

一部の人に一生懸命クリエイティブになってもらうというイメージよりも、クリエイティブな人が来やすくて、クリエイティブなことができる環境があって、みたいな話が多かったかな、っていうイメージがあって。挑戦しやすい環境が整っているとこういうイメージが近いかと思った。基本目標4に入ってくるが、働く内容がクリエイティブなことができる、の目標に入れてもらうとクリエイティブあふれるまちとして、文化芸術振興によって、世界に誇れるまちに。基本目標1に起業があっても良い。

(本間会長)

新産業分野に起業を追加していても問題ないか。基本目標3にあるけれども。

(事務局)

全く同じ名前だとちょっと良くない。本日の意見を踏まえて、またこちらで検討させていただく。

(委員)

それぞれでこういうのを書いていたほうがいいという感じで。

(事務局)

ただ、皆さんの意見としては、例えば、これは基本目標1にあったほうがいいとか、そういう意見をいただけると逆に良いかもしれない。

(委員)

昔からあるものを守っていくイメージ。基本目標3のほうに。新しい、昔からあるものなので基本目標1に入るというのではない。

(本間会長)

キーワードとしても世界に拓く里山づくり、クリエイティブな里山づくり、自然を活用した新産業などあるが、キーワードも、これを入れて欲しいというのがあったらどんどん出していただきたい。

(委員)

文化、芸術はどうか。

(本間会長)

基本目標、タイトルのところで八季を入れたので、このキーワードのところを八、八つの季節っていうキーワードとして入れたい。里山づくり、さきほどの公園の話だったりとか、何かをつくれる場所だったり、そういうのもキーワードとしてあると良いかと思う。

(委員)

電線の地中化とか。それは先か。

(事務局)

具体的な施策になる。

(委員)

この素敵な案を見ながら、夢がかなうまちって入れたいとおっしゃったので、起業などから、キーワードとして「夢がかなうとか」。

(委員)

観光って何か入ったりするか。今、観光がどこにも入っていなかったかなと思うので。

(委員)

観光は基本目標3に入っている。技術と産業という中だとちょっと埋もれる感じはする。

(本間会長)

観光産業として基本目標3に入っていると思うが、基本目標1に何でもかんでも入る。クリエイティブという言葉が色々なことを包括しているので、どの政策分野でも引き受ける印象がある。

(委員)

観光という言葉は、私としてはこの基本目標のタイトルの中のどこかには出していただけるといいかなと。基本目標3に入るのであれば、それでもありがたい。観光は世界に誇れると思う。

(本間会長)

産業に観光が含まれているという。ここに観光を並べてしまうと。かといって観光だけにすると他の産業とのバランスが。難しい。

(委員)

「自然イコール観光」で、飯山は強いというのがあって、自然環境、八季を感じる自然環境から…。

(委員)

故に観光が強い。ここは本当にそうだと思う。

(委員)

交流と観光は若干ズレがある。

(委員)

観光はこのまま基本目標3のところで一緒にしておいて、産業全体としての盛り上がりを記載する。

(委員)

ならば、基本目標3のところに観光を残しておき、キーワードで自然のワードをもう少し入れていくみたいな、自然環境は自分たちのためだけでなく経済のためにも、というほうがプラスアルファ、世界に誇れる豊かな季節がある、八季がある、というのをキーワードにしていく。

(本間会長)

八季を生かした観光。八季を生かした交流でスキーなど。ここに入れられるかと。自然を生かした観光が盛んになれば、農林業のほうも間伐材など別の使い方するとか、もしくは飯山に来た人たちが畑

の体験とか、最近そういう農業体験を行っているので、そういう活用の仕方もあるかと。やはり観光は横の繋がりで、それぞれ全部関係してくるので独立的なものじゃない。なので、どんどん飛んでいただいても大丈夫。

また見ていただいて、基本目標2で、未来を拓く子どもたちが育つまち、先程、この「拓く」をひらがなに、という話になったが、ここもひらがなのほうがいいのかと思う。それかこの拓くはこの拓くにしてしまうか。目標としての意図としてはすごくそういった力を、ということなので。

(委員)

同じこっちは逆にこの「拓く」でいいのかな、自分で自分の未来を切り拓くっていうほうの「拓く」なので。

(委員)

ここは漢字そのままです。

(委員)

この、子どもたちが育つまちもいいが、子どもたちが育つ親支援があるまち、うまく言えないが、子どもたちが育つにはやはり親とか、子どもたち育つが大人が育てる。そこにたくさん手が差し伸べられるんだよっていうのがイメージできて欲しいので、子どもたちを主語にするのではなく、育てる人たちを主語にして欲しいと。

(委員)

子どもたちも一緒に育つというイメージで良ければ、未来を拓く子どもと大人たちが育つまち、みたいな。大人が育つ。子育て、親育ちとか言うのだが。

(委員)

親育ちって新しい。

(委員)

基本目標2のところで入れてみてはどうか。

(委員)

育てている世代からすると、やっぱり大変。子どもを育てるってすごい大変だし、ましてや働きながら育てている人がたくさんいるので、働きながら子育て。働きながらも育てられる、何て言えばいいか。

(委員)

環境。

(委員)

要は親支援である。

(委員)

子どもを育てるまちというよりも、育てるための親サポートがあるまち。

(委員)

さっき挙がっていた「親育ち」という言葉を使うっていうのは。

(委員)

大変だが、サポートしてもらえているってイメージを持ってもらえるような。

(委員)

社会で育てるまち、そういうふうに、皆で育てようと。

(委員)

子育て世代。それだと、それは施策に入ってくるワードかもしれない。

(委員)

既存の政策分野の子育て支援、子育て世代支援みたいな。ピンポイントで。

(委員)

子どもを育てている人にはきっと響くと思う。

(委員)

勝手に子どもが育つ。

(本間会長)

地域全体で子どもを育てるっていうのを表した言葉、何かないか。

(委員)

子育てのことだけでなく、学校教育も入る。

(本間会長)

その辺りが、基本目標2としては、未来を拓く子どもと大人。未来をひらく親子が育つ。

(委員)

まちが育てる、未来をひらく子どもたち。まちが育てる。

(委員)

まちに学校があるので、学校と。

(委員)

まちで育てる。未来の子どもたち。

(委員)

子どもって、市民全体の宝。皆で育てていこうよ、という意味合い。

(委員)

共に育つ。

(委員)

きょういく。共育。

(委員)

共に育てるとは、子どもが成長に必要なことを学ぶだけではなくて、子どもと接しているお父さんやお母さんも一緒に学び、成長するという意味。きょういくという言葉で調べた。「ともいく」とも言う。多様な立場や領域の人や組織が連携して教育を担うこと。地域が教育を担うこと。

(本間会長)

地域で教育ができるということ。

(委員)

未来を切り開く教育。委員で取り組む、未来を切り開く教育。

(委員)

政策分野は子育て支援、学校教育、新たな時代を生き抜く力をつける学習。

(本間会長)

子育て支援にプラスで養育者支援みたいなのも一緒に入れていただく。

(委員)

親支援。

(委員)

世帯支援。

(本間会長)

たぶん、いろいろな子育て、ダイバーシティも入っていて、養育者という、おじいちゃんおばあちゃんと暮らしている、子どもたちを見ると。

キーワードのところで、先程の、地域の宝としての子どもみたいな。たぶん地域の宝、子どもだけじゃないので。地域の宝として子どもの成長の見守りと、その宝を見守る大人になった宝たち、みたいな。

(委員)

子どもだけじゃなくて、親、周りの大人が幸せじゃないと子どももなかなか幸せになれないのも現実なので。子どもだけじゃなくて、周りの大人も見たいなど。

(本間会長)

それをキーワードとして、子どもに関わる大人たち、この場合、安心感みたいな。

(委員)

子育てを担う。皆で育てたいし、親だけじゃなくて。

(委員)

子どもと大人の好循環みたいな。

(委員)

大人が幸せだと子どもも幸せだし、子どもが幸せだと大人も幸せだみたいな。会長がおっしゃった、子どもに関わる大人の幸福度アップ、みたいな。子どもに関わる大人っていうのはおやだけじゃなくておじいちゃんおばあちゃんもそうだし、例えば、保育士や学校の先生も繋がっていると思うので、やっぱり子どもを育てるために働いている人たちの環境、労働環境の改善、そちらにも。学校教育だけじゃなくて保育園とかはどうか。

(委員)

未来を切り開く、未来を「拓く」、のところはちょっとキーワードがもうちょっとあってもいいのかなと思う。

(委員)

政策のところで新たな時代を生き抜く力で、英語学習だったり、STEAM学習を例に挙げていただいていたので、キーワードのところに新たな時代を生き抜く力イコール、例えば英語教育とか。

(委員)

言語、文化。

(委員)

医療。小児、周産期医療。

(委員)

入っていない。

(委員)

こっちに小児医療も入れてもらう、キーワードのところで。

(委員)

でもこっちで入れられるとインパクトがあるというか。やっぱり小児医療がっていう。

(委員)

周産期について。飯山では産めない。飯山で産めるようになってもらいたい。

(本間会長)

それだと基本目標2に、基本目標5の医療は医療として残して、基本目標2は特に子育てに関して、出産関係に特化した医療を入れていただくと。

(委員)

キーワードのところ、飯山で子どもを育てたいって書いてあるが、飯山で子どもを産み育てたいというのは、安心して産めるし、安心して育てると知っていれば、住み続けたいって思えるようになる、繋がると思う。充実した子育て環境もあればもう最高だと思う。本当に声を大にして言いたいのは、保育士の先生たちの労働環境をもっと良くして欲しい。働きにくさで辞める人が沢山いてすごくもったいないと思って色々な話を聞くので、もうちょっと労働環境が整えば、続けられて良い先生がいっぱいいても辞めてく人もいる。子どもたちの周りにいる人たちをまず何とかしないとイケない。

(本間会長)

その中に保育士だけでなく、小中校の先生も。

いったん基本目標2については良いか。

(委員)

子育てしている方々は、日中仕事をしていて、市内で仕事をしている方が多いが、例えば子育て世代の従業員を雇っている企業側への支援も、例えば有給などいろいろ使わせてあげたい、あげなさいいけないし、あげたいが、なかなか現状その会社の規模などで良い返事ができないこともあるので、企業側への支援や制度がもう少し手厚くなると良い。この辺りの観点も、この基本目標2か5かわからないが、どこかに入れられたら良いと思う。

(本間会長)

そうすると安心してお休みが取れたりとか、企業のサポート体制が整っていれば、そのサポート体制を整えるために何らかの支援や政策があると、企業としても取り入れやすいということで。

(委員)

そういうのが結果的に飯山の企業がそういうものを取り入れるところが増えてくれば、地元で働きたいという人も増えてくると思う。それが繋がると思うので、結構国がその辺り意外と補助金出してくれたりしているので、もうちょっと市ベースでもあったらいいと思う。

(本間会長)

その申請支援については、書類手伝ってくれるなどの具体的な支援策は考えていただく。今のお話だと基本目標2に入っていたほうがいいのかなと。

(委員)

これは基本目標2だろうか。

(委員)

先程の子育て支援と、子育て世代支援に入るのかな、どちらかというと。

(委員)

働きながら育てるというのがメインになっていると思うので、仕事をしながら、というところに支援があるのは、とても嬉しい。

(委員)

シンプルに子育て支援、子育て世代支援。インパクトあるし、子育てを支援してくれるし、親も支援してくれる。キーワードにあると。

(委員)

あまり見たことない。

(委員)

ワードがあふれると埋もれやすいから、なるべくシンプルに表現する。

(本間会長)

子育て世代も入ると思うが、せっかくだったら企業はまた別で、子育て応援企業支援。ちょっと長くなるがわかりやすい。

(委員)

基本目標2のワード、先程会長が言われた、子どもに関わる大人の幸福度が高いまちとか、そのままでもいいかと思う。そういういろいろな支援があったり、地域ぐるみで育てる環境があったりすることで、皆が幸せだということが伝わると思う。

(事務局)

施策でこれだけはやったほうがいいとか、そういった漏れがないような形で検討いただけたらありがたい。

(本間会長)

基本目標3に関しては、先程ちょっと観光を基本目標1のほうにという話は出たが、ここでまた基本目標3に関してご意見あれば。感想メインに少しお話していたが。

(委員)

ここにワーケーションのような言葉を入れて欲しい。今テレワーク、出社しなくても働けることが判明してしまったので、ここは飯山の強みだと思う。それが観光にも繋がるし、いろいろな産業に繋がる、基本目標3にはワーケーション、テレワーク、リモートワークなど。

(委員)

懸念するところはネット環境の整備、インフラ的なところで。通ってはいるけど十分か。インフラの強化。誇れるというからにはそこを施策に入れたほうがいい。

(委員)

それをいくのが一番。「デジタルの力を最大限に活用し課題解決」とあるからには、どこよりも速いのが良い。

(本間会長)

政策に雇用・就業と入っているので、ワーケーション、テレワーク、リモートワークをキーワードで入れて、ネット環境の整備で、スマート農業やスマートセンシングを使う密度を測定して、ネット環境が必要だったりするので、産業の発展のためにもこういったデジタル環境の整備が必要になるので、入れるのはすごくあるかと思う。

(委員)

特に農業などには GPS などのためにネット環境が関わってくる。

(委員)

スマート農業、スマート林業など。

(委員)

鳥獣被害とかも。

(委員)

お祭りとかは入るのだろうか。

(本間会長)

基本目標4の地域文化の振興。

(委員)

何百年も続くお祭りがあるので。

(委員)

伝統文化として、入れてもいいかもしれない。

(委員)

ここにしかないお祭り。

(委員)

守る、伝える。

(本間会長)

基本目標4、一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまちで、市民協働、住宅、移住等あるが、ご意見などあれば。地域文化の振興でお祭りをとの意見があり、キーワードで「地域文化の伝承」と入っているがお祭りってキーワードとして明確に入っていくと良いかもしれない。

(委員)

チャレンジじゃなくてもそこにいいんだよと言ってくれる場所というか、その人のその居場所みたいな話を、何でもポジティブじゃなくてネガティブな人も許されるようなところで、居場所作り。一人ひとりが生きがいをもって、というところを含めたキーワードになる。

(委員)

一人ひとりがそれぞれの生活で。

(委員)

自分らしくいけるように。

(本間会長)

いきいきと暮らせると共に、自分らしくいられる。

(委員)

福祉でも居場所づくりとか言われているが、自分が自分でいられる場所がちゃんとある。

「自然」や「安心」は、ハード面から守るみたいなイメージ、生きがいを持ってということで精神的な。引きこもりしているのは問題かもしれないけど、その人もちゃんとそこにいてもいいんだよという支援、フォロー体制が居場所としてあればいいかなと思う。

(本間会長)

生涯学習、リカレント教育に関しては、キーワードを見ると若者がっていうのもあるが、生涯学習って本当に高齢者も含めて、あとリカレント教育も若者だけではなくて高齢世代を対象にして、学びなおしをしましょうということで国が今いろいろ進めている。キーワードに若者だけではなくて、高齢者、幅広い世代が学べる場所だということ、若い世代と高齢世代が一緒になって何か学べるとか、お祭りも地域で上の世代の人に教えてもらう。こういう交流と学びというのがあってもいいのかと思った。

(委員)

多世代の交流。おかしな表現だが。

(委員)

何も若者だけが、ではない。

(委員)

交流する場所があれば。

(委員)

スポーツも政策にはいっているがキーワードとして競技スポーツを。

(委員)

オリンピックも出ている、スポーツ分野においては。

(委員)

表に出したほうがいい。

(委員)

キーワードとしてウィンタースポーツとして挙げるのか、それとも幅広く飯山でできるスポーツ全般、自転車など1つずつスポーツ名を挙げていくか。

(委員)

飯山スポーツ。

(委員)

クライミングとかいろいろな新しいスポーツもどんどんできてきているから、そういうことにチャレンジできるような。

(本間会長)

ローマ字表記で IIYAMA、イヤマススポーツとかダサイですか。

(委員)

では、e スポーツ。

(委員)

例えば e スポーツでも、プロ選手がたくさん出るぐらい、僕も良く知らないけど、生涯年収簡単に稼げるぐらいの。分野的にはすごい大きくなっている。あれはネットの1秒の遅延で、撃たれちゃうとかやられちゃうみたいなことが起こり得るから、相当ネット環境が良いところじゃないと。

(委員)

e スポーツの良いところが、男女関係ない、年齢関係ない、障害関係ない。全員同じフラットな状態でできるスポーツということだからかなり注目を浴びていて、大阪の吹田市だったか、学校で e スポーツやる事例があるようだ。e スポーツ振興も今すごくアリだと。

(委員)

僕はまだゲームの延長というイメージがどうしてもぬぐいきれない。それこそ新しい価値観でイノベーション。それを僕ら世代も刷り込まなきゃいけないというか、e スポーツをどう受け入れるかというのがあるなど。

(委員)

福祉でもやっぱり脳トレ、大画面で。

(委員)

でもあと 10 年、20 年すれば、ぷよぷよ(ゲーム名)をプレイしていた世代が、要介護状態になるかもしれない。

(委員)

含めてのスポーツっていう区切りか。

(事務局)

教育である。

(委員)

スキーやりたいのに、やるのにお金が、道具を用意するのにお金がかかるとか、例えば自転車のスポーツをしたいのに、お金がなかなか出せないということだと、やりたくてもできないので、レンタルの環境が整って欲しい。チャレンジする上で、第一歩を踏み出しやすくして欲しい、してもらえるといいと思う。

(委員)

それはちょっとキーワードになる。

(委員)

産業に繋がる話だと思うが、レンタル産業が盛ん。来シーズンモデルなどをレンタルで扱っていて、とても高い、1台で月収並みの金額の板などがレンタルできて、買えないけど乗ってみたい人たちが、自分の板は持っているのにわざわざ借りに行く、というのがまかり通る産業。それが自転車の分野だったら、もしかしたら乗ったことがない、だけど新型の良いバイク、それがもしズラッと揃っていたら、よりどりみどり、今回はこれ、次回はこれ、客単価も上がるし、産業になり得るなど。すごく良いと思う。

(本間会長)

子どもだけでなく大人もちょっとやってみたいなという。リカレント教育。体を動かすことの学びかもしれない。

(委員)

自由に河川敷をクロスカントリーで走ってみたい。道具を借りられる場所があれば。

(委員)

買うまでじゃない。

(委員)

イメージできるから、買わなくても借りてちょっとやってもできると良い。だからやっぱりレンタルは必要。

(委員)

海外だと地元の人が普通にスーパーとかでスキー板買っていて、買い物していたりするぐらい、地元の人がスキー板を持っていたりするらしい。道の駅にモンベルが来るならば、そこでクロカンをレンタルして。圧雪車1台呼んで、コース作ってもらって。チャリとクロカンの融合とか。ガイドも付いて。言い方を変えれば、飯山にしかできないイノベーション、革命的、革新的な。

(委員)

戻るが、基本目標1、「克雪」の言い方を変えて、「楽雪」。雪かきが楽になるし、楽しめる。これにしたらどうかな、と思った。

(委員)

雪を克服して楽雪。

(委員)

生きがいを持って挑戦的。生きがいづくりというのもキーワードになっている。

(委員)

生きがい、趣味づくり。

(本間会長)

基本目標5で安全で安心して暮らしを愉しめるまちとして、公共交通、地域福祉、医療などが入っているが、ご意見いかがか。

(委員)

広域連携はここに入るのか。

(委員)

ここでいう広域連携というのはどういったことか。

(事務局)

都市交流とか、姉妹都市交流とか、ここら辺で組織している定住自立圏構想というのがある、いろいろな政策の連携。そういった取組のことである。

(委員)

例えば飯山が地震で駄目になったら、連携している組織が支援してくれるみたいな連携。

(事務局)

まさにそう、災害時協定もそのひとつ。今、流域治水という言葉もあって、川沿いにいくつも市町村がまたがるので、それで勉強して川を守っていくとか防災していくという考え方で今、国として進めているところもあって、千曲川がそれに入っている。

(委員)

選挙について入れてもいいかと思った。選挙やりましょう、じゃなく、選挙についてちゃんと理解して、自分たちが関わってくるというのって政策でうたっているのかわからないが。

(委員)

投票率を上げる。

(委員)

投票率を上げるための教育はしたほうがいいのかと思う。自分が自分のまちづくりに関わるというのを実感する。

(委員)

分野的には基本目標4の市民協働。皆で取り組もう。

(委員)

選挙については持論があって、マイナンバーカードでネット投票ってできないのかとずっと思っている。それは市単体ではできないのか。

(本間会長)

国レベルかもしれない。

(委員)

そうすれば若者の投票率上がると思う。可能になったらいいと思う。

(事務局)

それは課題だと思う。

(本間会長)

一市町村からはどうにも。

(委員)

飯山市はこうやりますと言えるならば、面白いと思うが。

(委員)

ちゃんと政経について知れば、おかしいから変えようよ、と言う人口が増えればだんだんそうになっていくかもしれないけど、まずは知っている人を増やす、関心を持っている人を増やさないと。

(委員)

教育の問題もある。教育にもっとそういう、主権者教育のように、飯山として入れていかなければ。良い町をつくってくと教えないと。学校教育で仕組みは教えているけど、その大切さを全然教えられていない。教育は大事。

(委員)

雑談だが市の方にも聞いて欲しい。選挙行ったあとに投票証明みたいなのを結構いろいろな市町村で配っていて、たとえばそれを飲食店で持っていくと安く食べられるとかそういうキャンペーンをやって、しかもその Twitter とかで投票証明書と調べると、各地の個性豊かないろいろデザインされたものが上がっていて、静岡は、さくらももこ先生のイラストが書いてあったり、何がもらえるかという楽しみもあるし、それを持っていくと安くなるならお店に行こうかなと消費行動に繋がるし。モーニング娘が選挙行った後に外食するっていう歌を作ったが、まさにそれってすごく大事ななと思った。選挙行った時に聞いたことがあって、証明書もらえるかと言ったら、それは何ですかと言われた。

(本間会長)

基本目標4で投票、選挙の工夫がある。それもキーワードとして。投票、御朱印、おやつ計画。

(委員)

本当は、投票行ってその後に皆でご飯食べたりすることで、正々堂々と自分は投票に行ったんだと言えるようになる。

(委員)

飯山から日本を変える。

(委員)

若い人からちゃんと意識を持って関わられるような取り組みはあったほうがいい。

(委員)

結局、俺一人が言っても何も変わらない、行くだけ損、別に行かなくたって行ったってどっちでもいいよという感情なのだと思う。それよりも遊びに行きたい。

(委員)

興味もないと思う。

(委員)

もので釣るとか。それで上がるなら取り組んでも良いのでは。

(委員)

それプラス、一人ひとりの生きがいを持って挑戦できるまちというからには、声を聞く。これはもう本当に、文化に繋がるようなところなんだけど、こういうことに声をあげることができてそれを聞くことができる体制みたいな。道路を直してくれたりとか。実現できるようなそういう流れがもし聞いてくれればもっと。口コミで広がる。

(委員)

声が届く市政。

(委員)

飯綱の人が言っていた。移住者たちが、声が届きやすいから飯綱が大好きなんだと。

(委員)

いいなと思うポイントはきっと共通している。

(委員)

何か施策を行うときにパブリックコメントで募集されるが、あの募集の仕方ももっとわかりやすく。気付いたら募集期間が1週間しかないとか、よくある。すごく考えて言いたいことあるけれど、考える時間が限られていて、その時期忙しくて。そういうのをさっとメールで言えたり、LINEとかSNS、QRコードを市報に貼っておいてここにアクセスしてコメント何でもいいから、としたら意見を発しやすい。そういう意味では声が上げやすい、聞いてもらいやすい。

(委員)

キーワードとして今のお話入れていただいてほしい。

(委員)

デジタルで何とかしてもらってほしい。

(委員)

基本目標5の、例えば消防とか、集落活動については、新しいことを始めるということか。

(事務局)

どちらかというと、今の集落活動が人口減少したり、高齢化していったりして、維持できていない、というものを持続していくような形の集落活動。

(委員)

キーワードにも関連するが、消防団とか集落活動とか既存のものが守るために、この先どうやったら維持していくのか、しくみ作りを根本から考え直す時期に来ていると思うので、その辺りキーワードにすると、変えてくというか、継承というよりそろそろ限界かと。消防団は本当に限界。集落が崩壊する。

(委員)

私は最近、初めて地区に入って総会に出て思ったが、今までのものを維持するのは限界がきてい

て、何を捨てるかを考える、結構そこまで来ているところがあると思っている。精査していく、それを地区の人たちに任せるのではなく、皆で考えたほうが良くて、地区の区長が苦しむ、維持するだけではなく、精査していくことも必要。

(委員)

飯山市としてそこをどうするか、とても難しい。

(委員)

結局、自分たちが住んでいるまちのことだから、自分たちで考えて決断していかなければいけないところでもある。だが、何でもやめるとなると、それはちょっと違う。やめないで形を変えられるような支援とかフォロー体制が市全体であるんだよとなれば、安心して生活できるというか。

(委員)

これも全部任せきりにしないで皆で。

(本間会長)

何を残して何をやめるか、地域全体一斉にとやるとすごく難しいと思うので、どこかモデル地区を作って、そこで一度いろいろな地区の方で集まるとか、こういった会議などで精査していった、モデル地区を作ってそこでやってみて、うまくいけばいろいろな地域に広げる。失敗したところはまたブラッシュアップしながら、というように、まずモデル地域をひとつ作って、そこから波及させていく地域の維持の仕方みたいなのがあったら、長く残していける。あと急激な変化にならないと思うので、いろいろな調整をしながらになる。ただそのモデル地域がどこになるか。そういった話し合いができるような場所というのもキーワードで、まずいきなりじゃあこれやりますではなく、ちょっと整理しましょうというような、今この段階だということなので、整理しましょうという内容を入れてもいいかと思う。この5年間に仕組み作りをしていく。

(委員)

基本目標5に関してはどこのまちでも同じ項目だと思う。全国的に安心・安全というのは、もうベースであるべき。そんな意識で。基本目標5に関してだけは、当たり前に入っているぐらいのレベルだと思う。これがあってからこそ他の4つの基本目標は、これがベースにならないといけない。

(委員)

基本目標5に入るのか3なのか、重要なこととして、ヘリコプターの農薬散布。あれは全然安全・安心ではない。

(委員)

世界に誇れる内容かどうか。

(委員)

世界に誇れる農業であれば、ヘリは飛んでない、間違いなく。日本でしか使われない、世界基準では使っちゃいけない農薬散布をしている。それを自分はわかって見ているのだけど、ああやっているなど。それは今までのやってきた事もあるし、今まで OK だからいいみたいな所もあると思う。そこはもう、思い切って舵を切るか NO と言えるか。

(本間会長)

それだと目標3だと思うが、キーワードでは、安心な食づくりとか。

(委員)

食づくりってそういえば入っていない。

(本間会長)

ヘリでの農薬散布の考え直しというよりは、環境を考えるみたいな。

(委員)

基本目標1の環境にも関わってくるし、基本目標2の食育、基本目標3の農業、基本目標5の安心・安全にも。

(事務局)

今、全体的な骨格を今議論いただいているということで、そこにどんな施策が飯山にとって、この基本目標に対して何が必要になってくるかっていう部分は、9月から 10 月にかけて会議を開かせていただいて、その中で具体的なお話を聞かせていただきたいと思っている。よろしくお願いします。

(本間会長)

基本目標6まで終わった。基本目標5はあまり見直す必要がないか。政策分野に関してはこれをベースに検討していく。ここまで一通り見てきたが、言い残したことがあれば。

(委員)

基本目標4、新たなダイバーシティの概念が重要。最近ダイバーシティ・アンド・インクルージョンという概念があって、ダイバーシティというのは個々の話で、結局はそれらを融合して活躍できる状態にしないとやりにくくなる。ダイバーシティ・アンド・インクルージョンという表記が対応できるのであれば、より良いと思う。ダイバーシティだけなら言われてから結構経つ。それを活用する段階に入っている。

(本間会長)

意見交換、感謝申し上げる。

(事務局)

時間がまだまだ足りないくらいの議論をいただいているが、一旦ここで終わらせていただく。今後のスケジュール、ご意見をまたお聞かせいただく機会があるということで説明をお願いする。

6 今後のスケジュール

(事務局)

今後のスケジュール。まず全体、将来像と基本目標がどうなっていくかという説明から。今回アイデア会議でご議論いただき、8月2日ぐらいに素案づくりは庁内策定委員会と、庁内アイデア会議を開催してまとめをさせていただく。その後、8月上旬となっているが、庁議や部課長会議などに報告をして意見聴取をしたいと考えている。

それを受け、8月中旬には素案づくりから素案を定めたい。また、8月30日に基本構想審議会という条例上の組織だが、素案を諮問させていただくという流れになる。

なお、基本構想審議会のメンバーには、この市民アイデア会議を代表して会長、副会長に参画していただくことになっている。その下の市民アイデア会議については、9月下旬から10月上旬ということで、この頃になれば将来像と基本目標の素案が、基本構想審議会で審議されてこういう形になったとお知らせすると共に、先ほど話があった具体的な施策もこの辺りでもう一度お話しご意見いただきたいと考えている。この間、少し開いてしまうが、何か変化あったりすれば随時お知らせする。大きな変化等についてはまた招集させていただくこともあろうかと思う。全体としては以上である。

それから、この市民アイデア会議、今はこうして基本構想などの総合計画のことを議論しているが、委員をお願いした時にお話したと思うが、市の施策のアイデアづくりということで、2年とお願いしてあったが、計画づくりが終わっても引き続きこういった意見交換を是非お願いしたいと思っている。これについてはまた追々説明させていただく。よろしくお願いしたい。

7 その他

※特に無し

8 閉会(18:00)